

TTS 対応電子出版制作ガイドライン

| 音声化要点 | | 音声読上げ対応の基本方針 | 個別 対応 | 対応要請レベル | | | |
|----------------|---------------|---|----------|---------|---|---|---|
| | | | | 著 | 出 | 音 | 利 |
| 電子出版 環境 | TTS 対応電子出版の制作 | 著作者と出版者との間で TTS 対応電子書籍を制作する契約を締結する。 | ○ | ○ | ○ | — | — |
| | TTS 用データ | 音声化に利用できる(音声読上げ可能な)データを用意する。 | ○ | ○ | ◎ | — | — |
| | TTS 用データの受け渡し | 電子書籍リーダーは TTS エンジンに音声読上げ可能な TTS 用データを受け渡す。 | ○ | — | — | ◎ | — |
| TTS エンジン 機能 | 読上げ速度 | 読上げ速度は、1.0～1.2 倍速を基準とし、任意に選択可能とする。 | — | — | — | ◎ | △ |
| | 声の種類 | 音声化時の声の種類は、任意に選択可能とする。 | — | — | — | ○ | △ |
| | 記号読み | 括弧、鍵括弧を含めた記号は、音声化の有無を選択可能とする。 | — | — | — | ◎ | △ |
| | 抑揚表現 | 自然に聴くことが出来る程度の抑揚の有無は、選択可能とする。 | — | — | — | ○ | △ |
| | 強調記号 | 強調処理として、前後に間を空けるか、声の種類を変える等、任意で選択可能とする。 | — | — | — | ○ | △ |
| | 間の設定 | 間の間隔の秒数は任意で選択可能とする。 | — | — | — | ◎ | △ |
| レイアウト | 改行／字下げ | 改行及び字下げは、文章の変わり目とみなして間を開ける。長さは任意で選択可能とする。 | — | — | ◎ | ◎ | △ |
| 文字 | 読み基本 | ルビの付記がない漢字は常用漢字表の範囲で音声化する(※1)。 | — | — | — | ◎ | — |
| | 外字／異体字 | ルビで対応するか、常用漢字で代用する。異体字については親字で代用する。 | ◎ | ◎ | ◎ | — | — |
| | 感嘆符／疑問符 | 規定項目の直前の文書(最終文字ではない)を強調する。 | — | — | — | ○ | △ |
| | 括弧 | デフォルトでは、括弧、鍵括弧関係は音声化しない。選択により発音可とする。 | — | — | — | ◎ | △ |
| | 記号読み | 感嘆符、括弧、鍵括弧以外の記号は、音声化する(※1)。 | — | — | — | ◎ | △ |
| | ハイフン／ダッシュ／点線 | 規定項目を発音せず、間を開ける、もしくは規定項目と分かるように音声化する。 | — | — | — | ◎ | △ |
| ルビ (読み指定) | ルビ指定 | 読みを指定する場合は、必ずルビを振る。ルビがある場合は、ルビを優先して音声化することを選択可能とする。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | △ |
| | 傍点(注点) | 傍点(下線などの注点としての表記)区間を強調処理として定義し、音声化する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| | 踊り字 | 常用漢字の範囲で音声化する(※1)。 | △ | ○ | ○ | ○ | — |

【凡例】 個別:個別の音声読上げ対応が必要なもの、基本:個別な対応が不要なもの

著:著作者、出:出版者(編集プロダクションも含む)、音:TTS エンジンの開発者及び電子書籍リーダーの開発者、利:利用者

◎:絶対必要とされる項目、○:十分考慮されるべき項目、△:選択的に追加してもよい項目、×:絶対禁止とされる項目、●:十分な検討なしで選択すべきではない項目

※1 TTS エンジンが形態素解析した結果で音声化する。